

『行ってらっしゃい』

吉田真司

2020 年春から突入したコロナ危機の中で、教会の諸活動を大いに制限、中断を余儀なくされたことは記憶に新しいところ。現在は再開している相模原礼拝もお休みとし、中央林間会堂礼拝も、牧師と主事、配信者のみ会堂に来て、オンライン (You Tube ライブ) にて各自宅とつながり礼拝を守った時期もありました。幸いだったのは、当教会会員の即座の対応によってオンライン配信環境が整えられたことです。

◆配信側としては、ビデオカメラのレンズに向かって話しかける日々。しかし視聴 (オンライン礼拝) される方々から「毎週、牧師の顔を見えていますよ!」と応答の言葉を頂く度に、決して一方通行ではない励ましを強く感じました。その配信視聴が主であった時期に、現在行っている礼拝の終わりの挨拶「行ってらっしゃい!」は始まりました。たとえ画面越しでもそこで対面しているかのように、真っ直ぐに視線を向けて、手を振って挨拶する、・・・ある方から「もっと笑顔で!」とご助言いただいたり、その後そのことを意識しましたら、「吉田牧師の顔が一番笑顔になる時」と評してくださり、喜んでいただけていることを実感したものでした (笑)。しばらくして会堂礼拝も徐々に会衆が集まれるようになり、それから会堂内でもお互いに「行ってらっしゃい」と手を振り合うようにし、そこで生れる雰囲気はとても良いものだと思えました。◆さて、この度、次月 7 月第 1 主日から「行ってらっしゃい」の挨拶に代え「子どもたちへの祝福」(コロナ以前に通例としていた形。後奏の後、牧師が講壇を下り、最前列に並んだ子どもたちの頭に手を置き、その足で会堂から退場する。司式者・指揮者と共に。) に戻します。この礼拝式の最後の流れは——私にとって相模中央教会に赴任して初めて経験させていただいたこと——とても豊かなことで、子どもたちの礼拝経験としても記憶に刻まれ続けるものと思い、その再開の時期を見計らってきました。今後、「行ってらっしゃい」の所作を式の中で行うことはしなくなりますが、祝福派遣の祈りを通して、その意を相互に噛み締めたいと思います。そして引き続き配信を通して会堂にお越しになれない方々とも礼拝でつながってまいります。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間 4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師: 吉田真司 音楽・子どもユース担当主事: 江原美歌子 協力牧師: 斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>